

お客さま本位の業務運営

三菱UFJオルタナティブインベストメンツ株式会社

三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」といいます。)は、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、グループ共通の指針となる「[MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針](#)」(以下「FD基本方針」といいます。)を策定・公表しています。三菱UFJオルタナティブインベストメンツ株式会社(以下「当社」といいます。)は、FD基本方針に基づき、以下の取り組みを行います。

お客さま本位の徹底

[原則2、7]

当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティー(以下「FD」といいます。)こそが、お客さま本位の業務運営につながるの考えから、FDを私たちに求められる思考・行動様式として位置付け、全役職員でこれに取り組みます。

具体的には、研修等を通じて役職員に対し、FD基本方針に則った判断・行動を徹底するとともに、お客さまの最善の利益を図るため、お客さまの声を踏まえた業務運営を行います。

お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

[原則6]

MUFGの幅広い金融機能の融合と、当社が持つグローバルな運用機関とのネットワークにより、市場動向やオルタナティブ分野における多様な運用ニーズに応じたサービス・商品の開発・提供に努めます。

お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

[原則4、5、6]

投資のご経験や財産の状況および取引の目的等に照らし、適切に投資判断いただけるように、サービス・商品の提案に際しては、それらの内容や特徴に加えて、リスク・手数料等の分かりやすい情報提供に努めます。また、その後のお客さま資産の運用状況や関連情報についても、タイムリーかつ丁寧な説明を行います。

サービス・商品に係る手数料等は、その内容に応じた合理的な水準とし、透明性を高めるため、説明資料や契約書等においてわかりやすい適切な開示を行います。

多様なニーズにお応えするサービス・商品ラインナップの整備

[原則3、6]

投資目的、投資期間、リスク・リターンなど多様化するお客さまのニーズに応じて適切なサービス・商品を選択いただけるように、ラインナップの拡充を図ります。

様々な投資機会を追求する観点から、系列関係にとらわれることなく、市場動向、国内外の運用会社・ファンドの商品動向等に目を配るとともに、規律ある商品選定プロセスにより、幅広いサービス・商品を取り揃えていくことを実践します。

お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

[原則2、3、7]

お客さまの投資成果向上に向け、運用・管理手法の改善に間断なく取り組み、高度化を図ります。併せて、金融商品取引業者として忠実に業務を遂行するとともに、運用業務における独立性・透明性の確保を目的として、運用機関としてのガバナンス体制の一層の強化に努めます。数種の金融商品取引業を行うことに伴う弊害防止の観点から、別途定める利益相反管理方針に従い、お客さまとの利益相反の可能性について把握し、法令に則り適切な管理を行います。

プロフェッショナリズムの発揮

[原則7]

全役職員一人ひとりが、お客さまに対して担当する業務を通じてプロフェッショナルなサービスを提供できるよう、業務や社内外での研修を通じた知識・スキルの向上に努めるとともに、企業グループ内での人事交流、報酬・評価体系の整備など、継続的な取り組みを行います。

以上

金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」の各原則と当方針の対応関係につきましては、本文中に[]書きにより表示するとともに、[別紙「対応関係表」](#)によりお示ししています。

当社の取組状況について

当社は、MUFGの資産運用ビジネスを担う三菱UFJ信託銀行の子会社として、FD基本方針に沿った業務運営を行っています。

以下に、当社の2023年度の取組状況を公表させていただきます。

お客さまの多様な運用ニーズに対応したサービス・商品のご提供

[原則2、3、6]

国内外の有力な運用機関とのネットワークを活かし、また、MUFGの幅広い金融機能を融合することにより、オルタナティブ分野に特化した商品・サービスを、国内の投資家の皆さまに幅広くご提供しています。

近年、益々多様化するお客さまの運用ニーズを調査・分析して商品選定に活かすことでサービス・商品のラインナップを拡充し、それぞれのお客さまの投資志向に適したご提案を継続することによって、当社のこれまでの投資運用業での受託状況は以下のとおりの推移となっています。当社の投資一任業務においては、年金基金を中心とした国内投資家の方々との直接の契約によるもの（下図では「一任受託」と表記）の他に、合同運用商品や小口化された商品等への多様なニーズにお応えするため、当社が運用者として海外籍ファンドを組成し、優良なオルタナティブファンドへの投資機会をご提供するインベスト・マネジメント業務（IM業務）にも2021年度から取り組み、お客様からのご支持をいただいています。

2024年3月に公表された格付投資情報センター（R&I）の年金顧客満足度アンケート調査結果においては、投資一任業務における組入れファンドの良好な運用状況なども追い風となって「ヘッジファンドに対する満足度」で4年連続の第1位となりました。

なお、サービスや商品のご提供に当たっては利益相反管理方針に則った運営を行い、お客さまに安心してご投資頂けるように努めています。

投資運用業 受託状況の推移



お客さまへの情報提供やコンサルティングの実践

[原則4、5、6]

当社の提供する商品・サービスに関連し、投資戦略・商品の内容については、当社独自の分析を踏まえたサマリーやリスク、手数料、利益相反の可能性等のお客様にとって重要な情報をわかりやすくご提供できるような資料を作成し、それぞれのお客様に応じて丁寧な説明を行うよう努めています。

加えて、オルタナティブ投資を取り巻く環境などの情報のご提供のため、積極的にお客さま向けセミナーや勉強会を開催し、多くの投資家の皆さまにご参加いただきました。



業務の高度化と専門性の向上

[原則3、7]

お客さまから長きに亘りご支持をいただけるよう、当社の役職員一同は、プロフェッショナルなサービスのご提供を常に心がけ、グローバルな情報の収集や、商品組成および販売体制を見直すなど、金融商品取引業者として忠実に業務を遂行し、アカウントティング・モニタリング・レポートの高度化に弛まず取り組んでいます。その一環として、当社では2023年5月31日を基準として投資一任業務に係る内部統制の保証報告書を取得しています。

また、親会社である三菱UFJ信託銀行との間で、専門分野の業務研修に相互に講師や受講者を派遣するなど、役職員の知識・スキルの向上を図っています。このような取り組みを通じて、様々な運用ニーズに対する新たなソリューションをご提供してまいります。

以上